年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（2学年用） 教科　　公民　　科目 公共

教　科：　公民　　科　目：　　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第2学年　　必修授業

教科担当者：森　菜花

使用教科書：（ 高等学校　　公共　（帝国書院）　　）

教科　公民　　の目標：

【知識及び技能】法や規範の意義および役割、諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取りまとめる技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】主として法にかかわる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠を持って表現する。

【学びに向かう力、人間性等】現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

科目　公共　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現代社会の子よがらや課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。	幸福・正義・公正などに着目し、国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、課題を把握し説明するとともに、身に着けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを議論し、合意形成や社会参画に向かう力を身に着けてい	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民として、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を持っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・現代国家の成立と民主政治 【知識及び技能】 現代国家の成立や民主政治の意義・課題についてノートにまとめたりする力を身に着けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 民主政治に関する課題を見つけ考察し、その課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク等で、コミュニケーション能力や、健全に批判する力、一緒に社会を作る力を育成し、人間関係形成能力、社会形成能力を育成する。	・指導内容 「民主政治の成立」 「民主政治の基本原理」 「民主政治のしくみと課題」 ・教材　教科書・資料集	【知識・技能】 民主政治の課題についてきちんと把握することができる。 【思考・判断・表現】 人の意見に耳を傾け、自分との相違点をみつけることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的にコミュニケーションをとっているか。	○	○	○	5
		・指導内容 「日本国憲法の成立」 「日本国憲法と基本的人権」 「自由権」「社会権」「平等権」 ・教材　教科書・資料集		○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・基本的人権の保障と国際機関の取り組み 【知識及び技能】 人権問題や統治機構、国際平和に関する問題を資料から読み取りまとめることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 人権に関して課題を見つけ考察し、その課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク等で、コミュニケーション能力や、健全に批判する力、一緒に社会を作る力を育成し、人間関係形成能力、社会形成能力を育成する。	・指導内容 「内閣と行政権の拡大」 「公正な裁判の保障」 「地方自治と住民福祉」 ・教材　教科書・資料集	【知識・技能】 人権や統治機構、国際平和に関して、学習した内容を計画を立てて実施し、それについて評価することができる。 【思考・判断・表現】 人権問題や国際平和の在り方について、適切に判断し、自分の言葉でまとめ表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 他人の話をよく聞いたうえで、自分の意見を伝えることができる。	○	○	○	8
		・指導内容 「平和主義と自衛隊」 「日米安全保障体制の変化」 「21世紀の平和主義」 ・教材　教科書・資料集		○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	・市場経済のしくみ 【知識及び技能】 資本主義や社会主義についてノート等にまとめ書く力、段取りを組んで取り組む力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義と社会主義の比較を通して、課題を見つけ考察し、その課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク等で、コミュニケーション能力や、健全に批判する力、一緒に社会を作る力を育成し、人間関係形成能力、社会形成能力を育成する。	・指導内容 「経済社会の変容」 「経済主体と市場の働き」 「企業の役割」 「財政の役割と租税」 ・教材　教科書・資料集	【知識・技能】 両大戦をめぐる国際関係に関して、得た知識を基に異なる意見を理解しつつ批判することができる。 【思考・判断・表現】 資本主義・社会主義の長所・短所を比較し、他人の意見に共感したうえで、自分の考えを整理・表現し、意思の疎通を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 資本主義をめぐる問題に関して、課題・問題点を見つけ、問題点を解決しようとしているか	○	○	○	15
		・指導内容 「日本経済の課題」 「消費者問題」 「労働問題と労働者の権利」 ・教材　教科書・資料集		○	○	○	21
3学期	・持続可能な社会の実現に向けて 【知識及び技能】 現代の日本と世界についてノート等にまとめ書く力、段取りを組んで取り組む力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会に関する課題を見つけ考察し、その課題を解決する力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 グループワーク等で、コミュニケーション能力や、健全に批判する力、一緒に社会を作る力を育成し、人間関係形成能力、社会形成能力を育成する。	・指導内容 「第二次世界大戦後の国際経済」 「発展途上国の諸問題」 「経済協力と日本の役割」 ・教材　教科書・資料集	【知識・技能】 現代社会における諸問題を自ら調べ、自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 現代の日本と世界の課題に関して、発見した課題に対し、仲間ととに課題解決に向け協力しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の問題を解決するために、能動的に学ぼうとしているか。	○	○	○	14
		・指導内容 「少子高齢化と社会保障」 「憲法改正」 「持続可能な社会の実現に向けて」 ・教材　教科書・資料集		○	○	○	10
							合計 90